

## 令和4年度 宗谷管内コンプライアンス確立会議

日時：令和4年6月14日（火）14:00～15:00 ZOOMによる遠隔会議

参加者：管内各市町村教育委員会教育長、北海道稚内高等学校長、北海道稚内養護学校長、管内校長会会長、稚内市校長会会長 計14名



宗谷教育局は、6月14日（火）にWeb会議システム（ZOOM）を活用して、コンプライアンス確立会議を開催した。

本会議は、教職員の不祥事等の再発防止に向け、職員一人一人が服務規律の確保や法令遵守について高い意識を持つことが求められていることから、管内全体で、その未然防止に向けて取り組んでいくため、教職員の不祥事等の再発防止に向けた取組に対する意見交換や情報交換を行い、より実効性のある再発防止策を検討することを目的に開催した。

会議には、各市町村教育委員会教育長に加え、稚内高等学校長、稚内養護学校長、管内校長会会長及び稚内市校長会会長が出席し、全体で協議を行い、今年度の重点目標を決めた。

### ○ 説明 宗谷教育局企画総務課教職員係長 渡辺 大輔

- ・令和3年度の懲戒処分等の状況
- ・各種指針等の改正
- ・教職員による不祥事の未然防止に向けた対策について
- ・「ケース・メソッド」の手法を取り入れた研修の勧め
- ・校内の不祥事防止対策委員会の設置について
- ・教職員の当事者意識の醸成を図るための研修や指導等の重要性



### ○ 講話「学校におけるわいせつ事故の防止について」 総務政策局総務課職員公務管理係 不祥事防止対策官 添田 雅之 氏

北海道教育庁総務政策局総務課職員公務管理係不祥事防止対策官の添田氏より、学校におけるわいせつ事故やハラスメント、体罰等の発生事案の紹介やその発生原因と起きるメカニズムについて詳しく説明いただき、学校現場では「スクール・コンプライアンス」（教育法令と教育倫理の遵守）と考え、人材育成として捉えて対策に取り組む視点について話された。

また、道教委の不祥事防止対策の取組についても、紹介いただいた。

### ○ 協議

渡辺教職員係長から、「令和4年度宗谷管内不祥事防止の重点目標の設定及び不祥事防止対策の取組について」を説明後、全体で協議した。

<意見>

- ・他人事ではなく、一人一人に起こりうる可能性があることを認識し、全ての教職員の当事者意識の醸成を図る必要がある。
- ・教職員個々に寄り添い、不祥事が起きた背景は何か考え、組織として共通化した取組は大事である。
- ・人事異動時に倫理事項の引継ぎなど、情報共有も重要である。
- ・対策委員会の設置は不祥事防止の抑止力につながる。

<協議結果>

協議において、わいせつ及びセクハラは一人一人にも起こりうる可能性があることを認識し、教職員の当事者意識の醸成を図るためには、わいせつ及びセクハラを「しない、させない、許さない」職場環境を組織的に推進するとともに、全教職員による共有・遵守を図るために、繰り返し、粘り強く、取組を継続することが、教職員の不祥事等の発生を未然に防ぐことにつながると確認した。

重点目標を「わいせつ・セクハラの根絶」に設定することを全会一致で承認し、今年度取り組むことを決定した。



宗谷コンプライアンスキャラクター  
「コンちゃん」

一人一人がコンプライアンスを確立するために若手職員が作りました。